

# 法学部学修環境基金の実績と展望

九州大学法学部では、学部生の意見を反映しながら、法学学修に合った環境を提供するために、基金を活用して、これまで以下の取組みを行ってきました。

## 1 オンラインデータベース

2口以上の基金へのご協力をいただいた法学部生を対象に、学修支援のための各種データベースを用意しています。

### （判例情報データベース）

現在の法学部や法科大学院の学修では、数百件から千件を超える判例を効率的に読みこなす必要があるため、データベースの利用が必須です。そこで、基金を用いた団体契約で学生の負担を軽減し、自宅からでも法科大学院・弁護士事務所と同等のサービスにアクセスできる環境を、法学部在籍時を通じて提供します。

### （司法試験短答式過去問題等の演習システム）

上記の（判例情報データベース）とともに、基礎力確認テスト、短答式過去問題演習トレーニングなどの演習システムがインターネット上で利用できます。

### （公務員試験学習ツール）

九州大学法学部生の約3割は、国家公務員・地方公務員として就職します。そこで現在、公務員志望者を対象として、インターネット上で試験勉強ができる「公務員試験学習ツール」を契約し、公務員試験勉強の期間（2年生7月から4年生6月まで）を通じて提供します。

## 2 法学部学生サロン室

「学生サロン室」では、自習のほか、ゼミの報告準備で議論できるスペースを設けています。学生が主体的にレイアウトを決め、学術書や法学専門雑誌を常備しています。

## 3 「ゼミ論文集」の刊行助成

九州大学法学部には卒業論文制度がないため、その代替として、多くのゼミナールで、「ゼミ論文集」を年度末に刊行しています。基金では、この論文集の刊行費用を助成しています。

## 4 「法学部ニュース」の発行

学生スタッフを中心に法学部の広報誌である「法学部ニュース」を年2回発行し、法学部の最新の取組みや、学生の特色ある活動実績についてお知らせします。5月と12月頃、発行のお知らせをハガキにてお送りしますので、九州大学法学部Webサイト上にてご覧ください。



※ 法学部学修環境基金では、今後も法学部生にとって最適な学修環境の整備に努めて参ります。  
保護者の皆様・お子様のご意見やご要望も、ぜひお寄せください。